

様式第2号(第7条関係)

会議の開催結果

1	会議の名称	平成30年度第5回桜区区民会議
2	会議の開催日時	平成30年12月21日(金) 10時00分～11時25分
3	会議の開催場所	桜区役所4階 大会議室
4	出席者名	【委員】 飯塚委員、岩田委員、榎本委員、岡島委員、 小川委員、小澤委員、川上委員、小山委員、島崎委員、 長沢委員、福島委員、古屋委員、渡辺委員 【事務局】 コミュニティ課清宮課長、青木課長補佐、 根岸主任 【運営支援】 山口、石川、川村 (エコまちづくりフォーラム(株))
5	欠席者名	五十嵐委員、市村委員、大江委員、河野委員、 高澤委員、千葉委員、原委員
6	議題及び公開又は非公開の別	(議題) (1) テーマの協議・意見交換 (2) その他 (公開又は非公開の別) 公開
7	非公開の理由	
8	傍聴者の数	0人
9	審議した内容	議題について、協議を行った。
10	問合せ先	桜区役所 区民生活部 コミュニティ課 電話番号 048-856-6130
11	その他	

## 平成30年度 第5回桜区区民会議

日時 平成30年12月21日(金)

午前10時～

会場 桜区役所 4階大会議室

### 次 第

1. 開 会
2. 議 事
  - (1) テーマの協議・意見交換
  - (2) その他
3. その他
4. 閉 会

# 1. 本日の会議の概要

進め方は委員のみなさんで決めていきます

第1回 H30/05/29  
テーマの協議

第2回 H30/07/25  
テーマの協議

第3回 H30/08/29  
テーマの協議

第4回 H30/10/25  
テーマの協議

第5回 H30/12/21  
協議報告書の  
とりまとめ

第6回 H31/02/22  
区長との  
意見交換会

交流会 H31/03/20  
市民活動ネット  
ワークとの交流会

**■ 前回 [第4回]**

- ・ 第3回で協議した桜区の魅力などの「現状」について確認しました。

↓

- ・ 第3回で確認した桜区の魅力（地域資源）などについて、それらをどのように活用していけばいいかなど、意見交換を行いました。
- ・ 最後に協議内容の確認を行いました。

会議の結果を受けて、三役で次回会議の進め方などを検討しました。

**■ 今回 [第5回]**

- ・ 平成30年度の協議報告書（案）の内容を確認します。（事前送付）
- ・ グループに分かれて、追加や修正したいことなどを確認します。
- ・ グループで確認した事項を全体で共有します。

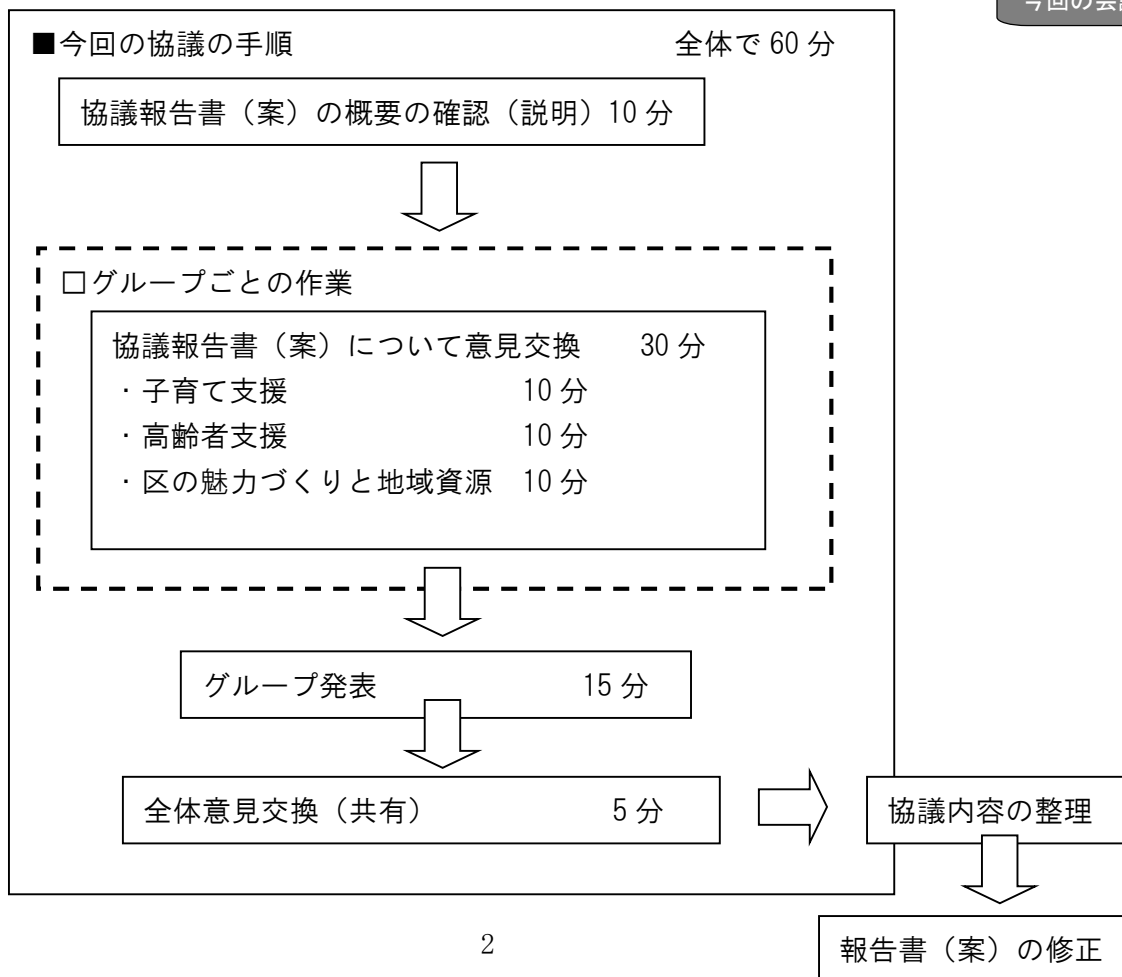
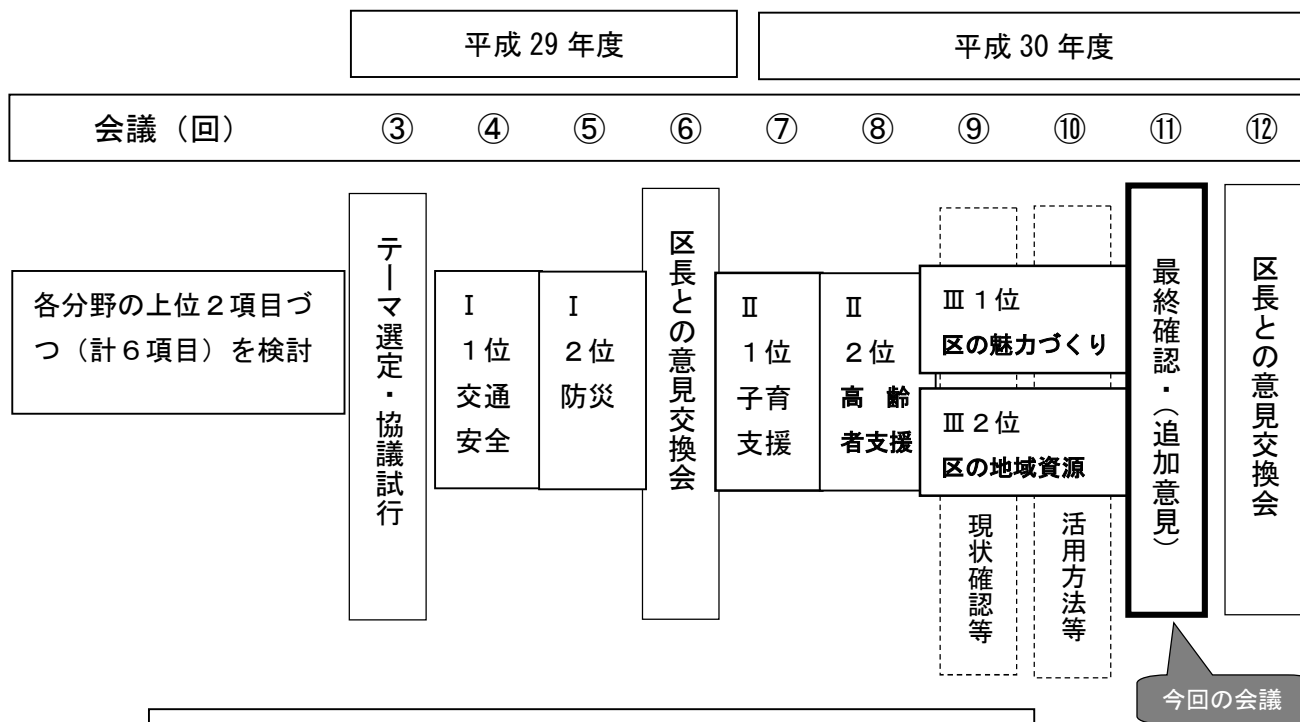
次回の区長との意見交換会で提出の予定です。



## 2. 協議の進め方について

### (1) 協議のスケジュール

- ・ 協議報告書（案）の確認を行います。
- ・ 2グループに分かれ、意見交換を行い、最後に全体で情報共有します。
- ・ 毎回、グループメンバーの再編成を行います。



## 平成 30 年度 第 5 回 桜区区民会議 議事要旨

日 時：平成 30 年 12 月 21 日（金） 10 時 00 分～11 時 25 分

会 場：桜区役所 4 階 大会議室

### 出席者（敬称略）

[第 8 期桜区区民会議委員（五十音順）] 13 名

飯塚 洋子、岩田 明子、榎本 文夫、岡島 玲子、小川 宅次、小澤 嘉昭、  
川上 強、小山 春佳、島崎 幸子、長沢 正子、福島 謙吉、古屋 静香、渡辺 常雄

[事務局]

桜区コミュニティ課  
コンサルタント

[傍聴者] なし

### 欠席者（敬称略）

[第 8 期桜区区民会議委員（五十音順）] 7 名

五十嵐 一志、市村 明広、大江 幸宣、河野 宏、高澤 翼、千葉 健太、原 綾

### 議 事

- 1 開 会
- 2 議 事
  - (1) テーマの協議・意見交換
  - (2) その他
- 3 その他
- 4 閉 会

配付資料： 会議次第

資料 1 / 本日の会議の概要

資料 2 / 協議の進め方について

---

### 1 開 会

欠席者の確認、配付資料の確認を行った。

次に、事務局より、会議の公開、議事要旨の公開について説明があった。また傍聴希望者はいないことの報告があった。

## 2 議 事

### (1) テーマの協議・意見交換

コンサルタントより、前回の協議の内容、今後の予定、今回は協議報告書（案）の内容の最終確認をする旨の説明があった。

その後、グループに分かれての意見交換を行った。

<グループ分け>

A 長沢副会長、飯塚委員、岩田委員、福島委員、古屋委員、渡辺委員

B 川上会長、榎本委員、岡島委員、小川委員、小澤委員、小山委員、島崎委員

#### 【協議報告書（案）の内容について協議・意見交換】

- 今年度の協議テーマである「みんなで助け合い、見守る、優しさと楽しさのある桜区のまちづくり」についてまとめた協議報告書（案）の内容に対して、追加意見等を付箋に記入し模造紙に貼った。
- 各グループでの協議内容は、項目ごとに分類整理し、最後に各グループから発表して全員で共有した。

#### グループAの協議概要

##### ○高齢者支援に関して

- ・桜環境センターのような、高齢者が過ごしやすい設備を今後も維持してほしい。
- ・新しく参加したい人が、地域の輪に入りやすいような環境作りが必要だ。
- ・いきいき百歳体操など参加できるプログラムはたくさんある。地域のつながりやきっかけがない高齢者にどのように参加してもらうかが課題だ。
- ・フロアカーリングを地域で行ったところ、高齢者だけでなく若者や子どもも幅広く参加した。世代を超えて取り組めるスポーツを普及していけばよいのではないか。
- ・市民団体、ボランティア活動において、高齢化問題は深刻である。次の世代をどのように育てるか、考えなければならない。

##### ○子育て支援に関して

- ・親子でイベントに参加すれば子どもだけでなく親同士の交流、地域のつながりにも発展するが、近年は子どものイベントに親は参加しない傾向が強い。今の世代の親はどのように考えているのか知ることが大切。
- ・子どもの頃のクラブ活動の知り合いが、大人になっても交流を続けるケースもある。
- ・桜環境センターで開催される、親子参加のワークショップのように、子どもたちだけでなく親同士でも交流の生まれるような取り組みがあればよいのではないか。
- ・昔は自分の子どもでなくとも厳しく注意する、褒めるなど、地域全体で子どもを育てる風潮があった。

## ○区の魅力に関して

- ・区内で開催される多くのイベントに、埼玉大学の学生や教授が関わっている。
- ・地域イベントに参加することで、埼玉大学の学生は社会性が身につく、地域には賑わいをもたらされる。

## ○その他

- ・昔とは違い、子育てを終えて時間が出来た 50～60 歳代の母親が働きに出るようになった。他にも働いている人が多く、自営業や農業従事者でなければボランティアや地域イベントに参加できない状態だ。
- ・地域の活動では、定年退職を迎えた 60～65 歳の世代の活躍が期待されているが、働いていることで地域の行事等に参加する機会がなく、活動に関わるきっかけや地域とのつながりが無い。一人でも参加しやすい環境があればいい。
- ・マンションやアパートなど、閉鎖的なコミュニティが多くなり参加者が増えない。
- ・既存のイベントでも、転入者など新しく参加を望む人を受け入れるような体制づくりを行ったが、確立するまでに何年もかかった。
- ・自治会に加入していれば、活動に関わるきっかけももっと多くなるのではないか。
- ・もちつき大会では、小さい頃に故郷で取り組んだという地方出身者の若者が積極的に参加し、大いに賑わった。
- ・もちつき大会のように簡単な食べ物を共有するようなイベントは、新しい人でも参加しやすくなるのではないか。世代によって異なる考え方や食べ物の好みなど、どのように対応していくかが課題だ。

## グループBの協議概要

### ○高齢者支援に関して

- ・高齢者支援のためのサロンは、中島地区には 10 数か所あり、2 か月に 1 回程度行われている。
- ・ふれあい会食のミニ版が行われているが、中島地区ではバイパスを挟んだ反対側からは、バイパスが越えられずに会場に来られない人がいる。
- ・自治会の中で行っているお茶会を、サロン活動にしようと話しているところもある。
- ・サロンへ参加するには無料または有料の場合がある。
- ・シニアサポートセンターは、介護される人だけでなく、介護する家族もサポートしている。また福祉全般を取り扱っているため、ぜひ利用してほしい。
- ・社会福祉協議会で、青少年育成会や PTA など教育関係団体の関係者を理事に入れて、連携していきたい。

### ○子育て支援に関して

- ・秋になると、埼玉大学に子ども連れの子育てが、どんぐりや松ぼっくりを拾いに来るので、イベント化したら楽しいのではないか。

- ・子ども食堂が、大久保地区の2か所で行われている。地域でもっと支援できればいい。小学校の教員が、子ども食堂を知らないこともある。朝ごはんを食べてこない子どもは多いと聞く。
- ・若いお母さん達は、あまり直接人と交流しながらず、インターネット上で相談したりしているようだ。年配の人に相談して、否定されることが嫌な人が多いのかもしれない。
- ・学童保育が1年生で満員になり、3年生が入所できないこともあるようだ。運営は独立しており、小学校は関わっていない。学童保育は、子どもたちに安全な場所を提供することが目的で、有料で利用できる。

### ○その他

- ・報告書に記載される固有名称については、簡単な用語解説をしたい。

### 3 その他

榎本委員より、無料塾ひこごの広報誌「ひこご便」の案内があった。

小澤委員より、さいたま桜高等学園「カフェ桜家」の案内があった。

福島委員より、埼玉大学でのシンポジウムについて案内があった。

島崎委員より、地域の小学校で行っているわら細工の紹介があった。

事務局より、次回会議を平成31年2月22日（金）15時30分から、桜区役所3階第1会議室にて開催する旨の連絡があった。

### 4 閉 会

以 上